

2024年 4月 28日 ≪ 献堂記念礼拝 ≫

主 日 礼 拝 ①8時半 ②10時半 ③夜7時

司 会 ②白川 達男兄

奏 楽

祈 禱 ②松岡 清枝姉

賛 美 聖歌85番「み神の愛をば」  
～注がれた愛～

使徒信条

聖書朗読 ヨハネによる福音書15章12～17節

特別賛美 大和カルバリー聖歌隊&オーケストラ

メッセージ 「キリストにあって私たちは一つ」  
石井 潤 牧師

献 金 聖歌201番「キリスト・イエスを基として」

賛 美 「ワンボイス」

祝 禱

お知らせ 〔司会者〕

賛 美 「見つめ続けます」

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします!☆  
《今週のお知らせ》

☆本日も礼拝の恵みを感謝します。午後は聖歌隊の練習が行われます。

★今週の祈り会：①早天祈禱会 明朝6時、②祈禱会：木曜午前10時半、  
夜7時半（大和祈禱会映像）。 ③準備祈禱会：土曜夜8時。

☆来週日曜礼拝でのご奉仕は司会は白川兄、祈りは石井兄。午後は聖書の学び会。

☆☆一年に一回聖書を完読できる！ Bible Reading Plan [4/28-5/5] ☆

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
聖書箇所	2サムエル 3-5	6-9	10-12	13-14	15-16	17-18	19-20	21-22
チェック	〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇

## 「キリストにあって私たちは一つ」

～愛はすべてを結ぶ帯～

「And to all these qualities add love, which binds all things together in perfect unity.」 [TEV] 「これらすべてを踏まえると、新しい人生で最も重要なのは、互いに愛し合うことだ。愛は究極の一致と団結を生む。」 [アライフ訳] 「何よりも大切なのは、愛をもって仕え合うことです。そうすれば、教会全体が深く結びつき、美しい調和が与えられます。」 [リビングバイブル] コロサイ人への手紙3章14節

1997年4月29日にこの教会堂の献堂式が行われました。大和からも多くの兄弟姉妹がご出席して、ここに入りきれない多くの方々が来会しました。村の方々も列席してくださいました。私もまだ神学生として、週末だけこの上田の教会に大和から通ってきていました。その頃はまだ新幹線もなかった頃だったと思います。碓氷峠を越えて運行する特急「あさま」に乗って来ていたと記憶しています。この教会堂が建てられる背景にも、多くの愛する兄弟たちの尊いお献げ物によって、借財無しでこの会堂は建てられました。一人一人の心からの願いがこの教会堂としてそのまま現れました。期待と心からの感謝が満ち溢れていました。

そして、その後の27年間の間に、この教会に移られた兄弟や、受洗に導かれた兄弟たちによって、更なる恵みに溢れてここまで来ることができました。

その間にこの教会に仕えてくださった主の器たち、私にとっては先輩たちによって教会の中身である主の体が建て上げられてきました。

「わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てよう！」と言われた主イエス様のご宣言によって、その信仰の告白の上に教会が建てられ続けてきました。それは、27年経った今も同様です。主がこの教会を建てられます。そして、私たち自身を建ててくださいます。

時には弟子たちがガリラヤ湖で経験したように、大きな嵐が私たちに対して、教会に対してもやってくる場合があります。嵐によって私たちは動揺し、不信仰に陥ってしまったり、感謝ができなかったり、眠れなかったりすることも起こってしまいます。しかし、そんな時こそ、初めの愛に立ち戻って、感謝と賛美を主に捧げる必要があります。

私は大和に上京したばかりに、主イエス様から与えられた思いとして「主の体の関節にさせていただきたい」ということ。大川先生の証しの「主のためのぞうきんになりたい」というものに似ていると思いますが、主の御体なる教会がしっかりと結び合わされるために、その間に関節が必要です。関節は曲げられたり、ねじられたりしますが、その役目を使命として担っていきたい。でも、関節一つでは体はつながりません。他にも関節が必要です。関節があればあるほど、豊かな教会となるでしょう。自分自身をささげ、他者を建て上げるための関節となる。そうするならば、素晴らしい主の働きがなされていくと信じます！